

高知市における部活動改革に関する方針

～高知市の子供たちが、将来にわたって継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を保障するために～

高知市教育委員会学校教育課（令和8年10月）

部活動改革の主役は、「**未来を担う子供たち**」です。子供たちの健やかな成長と多様な「**学び・体験**」の機会を守るため、皆様のご理解と温かいご協力をお願いいたします。



高知市の中学校の部活動は、令和11年4月から、原則、教員が休日の部活動の指導を行わない体制に移行します。
（平日についても、令和14年度から教員が指導する部活動を終了する予定です。）



部活動はなぜ変わるの？

少子化が進み生徒数が減少する中、子供たちが将来にわたり継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保することが課題となっています。

一方で、教員の休日指導等による過重負担の軽減や働き方改革の推進も強く求められています。

そのため、これまでの学校単位による運営から、地域の多様な資源を活用し地域全体で子供たちの豊かな活動を支える体制への移行が進められています。



地域クラブ活動への「地域展開」

これまで、学校単位で部活動として行われてきたスポーツ・文化芸術活動を、地域全体で関係者が連携して支えることで、高知市の子供たちが、将来にわたって継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を保障します。

高知市における中学校部活動改革の方向性は？

▶ 認定制度の構築

国が示す認定要件等に基づき、自治体が認定する「認定地域クラブ活動」の整備を進め、子供たちが安心して継続的に活動できる環境を整えます。

▶ 部活動の精選・拠点校部活動の拡充

学校は、改革実行期間（令和8年度～令和10年度）に部活動を精選したり、拠点校部活動の拡充を行います。

「部活動」と「認定地域クラブ活動」、何が違うの？

	学 校 部 活 動	地域展開（認定地域クラブ活動）
主 体	学校	競技団体、保護者有志、文化・芸術団体等
指導者	教員、部活動指導員、外部指導員	地域の指導者、希望する教員（兼職兼業）等
参加者	その学校に在学する生徒	高知市内の中学生など
活動場所	学校施設	学校施設、地域施設など
保 険	日本スポーツ振興センター災害共済	年間の保険加入手続きなど
費用負担	部費、交通費等の実費	各クラブの活動内容に応じた設定



Q&A（よくある質問とその回答）

Q1. なぜ、いま部活動を変える必要があるのですか？

A1. 少子化の中でも、子供たちが好きな活動が続けられる機会を守るためです。

生徒数の減少により、学校単独では単独チームの編成や部活動の維持が困難なケースが増えています。また、教員の過重負担の軽減・働き方改革を進めることも急務となっています。これまでの学校単位の運営から地域全体で支える体制へ転換することで、持続可能で質の高い活動環境を未来へつないでいきます。

Q2. 令和11年4月に向けて、これからどのような準備が進められますか？

A2. 令和8年度から令和10年度を「改革実行期間（前期）」とし、段階的に準備を進めます。

高知市教育委員会では、地域クラブ活動の認定制度（要綱作成や公募など）を構築し、令和9年度から子供たちが安心して参加できる「認定地域クラブ活動」の運用を開始します。また、各学校では拠点校部活動の拡充や部活動指導員の活用などの先行実施を進めるなど、段階的に地域展開を進めていきます。

Q3. 「認定地域クラブ活動」とは、民間のクラブチームや教室などと何が違うのですか？

A3. 「認定地域クラブ活動」とは、市が定める適切な活動基準や安全基準を満たした公的なクラブ活動です。

認定されていない地域クラブ活動（民間のクラブチームやスクール等）とは異なり、これまでの部活動が担ってきた教育的意義を継承した活動です。市が以下のような厳格な基準（認定要件）に基づいて審査・認定を行います。

【認定要件の一例】

- 適切な活動時間・休養日： 平日は1日2時間程度以内、休日は1日3時間程度以内、週2日以上以上の休養日を設定。
 - 開かれた参加環境： 選抜等を行わず、参加を希望する生徒の幅広い受入れを実施。
 - 学校との連携： 生徒の在籍校と活動状況やスケジュール等を共有。
- ※ 本要件は現在作成中のため予定であり、確定版では内容が変更となる場合があります。

Q4. 指導者はどのような人ですか？安全面やハラスメント対策は大丈夫ですか？

A4. 市が定める研修を修了・登録された指導者が指導にあたります。

指導にあたるのは、地域の専門人材や、兼職兼業の手続きを行った教員などです。暴力・暴言・ハラスメントやいじめ等の不適切行為を行わない誓約を義務付けるとともに、市の研修を受講し登録された指導者（認定地域クラブ活動指導者）を配置します。また、生徒及び指導者にはスポーツ安全保険等の加入を徹底し、安全管理体制を整えます。

Q5. 参加費用や用具の購入など、家庭の負担が増えるのではないですか？

A5. 可能な限り低廉な費用設定とし、経済的な支援策も講じます。

地域クラブ活動の参加費は、活動の維持・運営に必要な範囲内で「可能な限り低廉な金額」となるよう国・自治体のガイドラインに基づき設定されます。また、家庭の経済格差が体験の格差につながることはないよう、経済的に困窮する世帯の生徒への支援措置や公的補助も検討してまいります。